

環境教育フォーラム2021

探究学習で学ぶ地域、環境、そして平和

川崎市立東橘中学校

小濱 康夫 井上 俊夫

1. 本校の「総合的な学習の時間」

- ・3年間を通した全体テーマ「平和」

川崎市初の広島修学旅行　今年で15年目

戦争学習から始まり、現在はより広い意味での平和を学ぶ

平和＝互いに認め合い、誰もが大切にされ、誰もが過ごし

やすいこと、状態　　学ぶこと、今できること、発信

- ・学年ごとのテーマ

1年は「福祉」　2年は「環境・地域」　3年は「平和」

- ・2, 3年は30時間の探究学習

2. 昨年度1学年の取り組み

・コロナ禍で例年と違う取り組みに！（校外での学びや体験ができない）

① インクルーシブ運動会

インクルーシブとは何かを学ぶ講演会

「インクルーシブ騎馬戦」を考え、実施する

各クラスに当事者を招き、話し合い、同意を得て、合理的配慮の上に実施

「インクルーシブ障害物リレー」を考え、実施





②SDGsを考えてもらうプログラムを作る

17の目標から「貧困」、「ジェンダー」の2つを学んで、多くの人に考えてもらうプログラムを作る

→ 互いにやってみる → 川崎市平和館でプログラムを展示



3. 今年度の取り組み

- ・2学年のテーマは「環境・地域」

- ・30時間を使った「探究学習」

自分で「問い」を立て、自分なりの方法で調べたり、見たり、聞いたり、考えて、自分なりの答えを見つける → それを自分なりの方法でまとめ、発表する
今年度は、その過程で相互の学びや学びの協同化を図りたい。

- ・教員は「共同研究者」、「学習支援者」

生徒の問いをおよそ10のグループに分け、そこに1人ずつ担当が付く
各自のクロームブックで調べたり、校外での活動も可

- ・発表方法はやってみなければわからない！

4. 探究の前の「情報のシャワー」

①地域の防災講演会

最近の異常気象も踏まえ、洪水警戒
区域、土砂災害警戒区域である学区
について知る

(川崎市と高津区の危機管理担当を招いて)



4. 探究の前の「情報のシャワー」

②「地球温暖化」を学ぶ講演会1、2

(2回に分けて実施)

(川崎市地球温暖化防止活動推進センター

竹井 斎さんをお招きして)



4. 探究の前の「情報のシャワー」

③環境ワークショップ

8つのワークショップを実施

A「脱炭素とSDGsカード 3R マイクロプラスチック 食品ロス」 3R推進プロジェクト

B「脱炭素を目指そう！3Rカードゲーム」 3R推進プロジェクト

C「私たちの買い物が世界を変える」 グリーンコンシューマーグループかわさき

D「環境ラベルゲーム」 グリーンコンシューマーグループかわさき

E「日本と世界の自然エネルギー」 ソーラーチーム

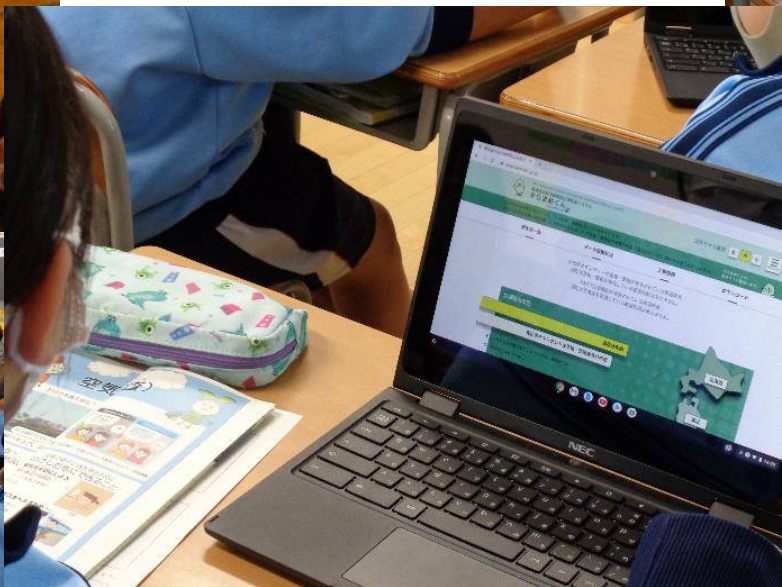
F「大気を身近に感じよう！（視程調査）」 市環境局地球環境共創課

G「今日からできる温暖化対策」 市環境局地球環境推進室

H「生物多様性とわたしたち」 市環境局企画課







4. 探究の前の「情報のシャワー」

④インプットしたことをアウトプットして共有 & 学びを深める

8つのワークショップのうち、各クラス2つに参加



各クラス1つのワークショップで学んだことを伝えあう



8つの内容の共有を目指す



5. 学びの広がり

川崎市環境環境対策部地域環境共創課の方々の事前打ち合わせの時に、
理科室のベランダを見学
視程調査の絶好の場所であることを発見



そこで活動していた科学部と出会う



科学部の有志の活動として視程調査を継続



どんな成果があるか？

6. すべてはこれから

・探究学習の進め方

10のコースを基本に、1人1人で探究に取り組む

2年前の例 PCで調べる 図書室で調べる インタビュー 図書館に行く

専門家に聞く(お招きする、訪ねる) 施設に行く(地球温暖化防止活動推進センター、市平和館、JICA、清掃工場など)

コース別発表会 → 全体発表会

発表例 レポート ポスター 模造紙にまとめる 人形劇 ペープサート

PCで発表 講演 平和をテーマにした曲を作って演奏など

・予想を超えた学習や調査、発表の仕方を期待しています

6. すべてはこれから

- ・休業明けに地域の農業について学ぶ
- ・そしていよいよ探究学習へ

生徒の皆さんがどんな問いを立てるか
それをどう支援し、深めていけるか
共に学ぶ姿勢で楽しみたい

- ・1つ1つの取り組みの感想はありますが、それよりも、今年1年の学びの成果にご期待下さい。

環境教育フォーラム2021

探究学習で学ぶ地域、環境、そして平和

川崎市立東橘中学校

小濱 康夫 井上 俊夫